

申2号 2026年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

要求提出

【要求趣旨（要旨）】株式会社JR東日本ステーションサービスの「2025年度第3四半期決算」が公表され、営業収益は過去最高の133億8400万円（対前年105.6%）となりました。この収益を生み出したのは、組合員・社員の日々の職場での努力によるものです。

JR東日本が発表した「勇翔2034」では、「労働条件の向上」によって「働きがい」や「働きやすさ」が向上し、持続的成長をすると謳っており、JR東日本ステーションサービスにおいてもその理念は実現していかなければなりません。

職場からは「賃金が労働実感に見合っていない」「生活にゆとりがない」という不満や将来への不安が噴出しています。さらには、現在の人事・賃金制度における「上限額」「ゾーン2」「所定昇給額の低さ」に対する不満が多く鬱積し、それが人材定着の障害になっていることを会社は自覚すべきです。

会社は昨年一律10,000円のベアを回答しましたが、そもそも低い賃金であるため、物価上昇に追い付かず生活苦を感じている社員がほとんどです。そのため離職が後を絶たず要員不足が深刻化し、組合員・社員の労働実感は増すばかりです。

要員不足の中、職場で奮闘し続けている組合員・社員の努力に報い、「JESSビジョン2027」や「勇翔2034」の完遂に向け、人材の確保と定着を行うために、賃金引き上げと人事賃金制度の改正を強く求め、申し入れますので、会社側の真摯な回答を要請します。

注目!

JESS春闘アンケート実施中

JR東労組は、
怒り、不安、
不満、疑問など
社員の本音を
会社に届けます



これがJR東労組の要求だ

注目!

1. 2026年4月1日以降のJR東労組組合員の基本給を一律18,000円（定期昇給を含まない）引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。その場合は昇給係数は「4」とすること。
3. 各等級の上限額を撤廃すること。
4. 各等級のゾーン2を撤廃すること。
5. 各等級の所定昇給額を増額すること。
6. 回答については、2026年3月31日までとすること。

JR東労組ステーションサービス協議会は、春闘アンケートを取り組みます。

ステーションサービスで働く仲間の声をJR東労組に集めよう!!
要求満額を獲得するため「今」こそJR東労組に結集しよう!!